

事務連絡
令和3年8月20日

各正会員
事務局責任者様

公益社団法人全国産業資源循環連合会
専務理事 森谷 賢
(公印省略)

産業廃棄物処理業の景況動向調査報告書【2021年4-6月期】の送付について

当連合会の事業の運営につきましては、日頃から格別のご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、本調査の実施にあたり全産連発第75号(令和3年7月9日付け)にて貴協会会員企業にご協力をお願いしたところですが、今般、景況動向調査報告書【2021年4-6月期】がまとまりましたので、送付いたします。

報告書の概要版につきましては、連合会ホームページに掲載しておりますので、以下のURLをご参照ください。

【報告書概要版の掲載ページ URL】

<https://www.zensanpairen.or.jp/activities/report/>

なお、次期の調査(2021年7-9月期)につきましては、令和3年10月中旬頃に調査票の発送を予定しておりますので、ご承知おきください。

産業廃棄物処理業景況動向調査結果について 〔2021年4-6月期〕

公益社団法人全国産業資源循環連合会

〔調査結果の概要〕

今期の調査は314社から回答があった。景況判断DIは▲18(前期調査から7ポイント改善)となり、4期連続の改善となった。来期の見通しは▲17となり、1ポイント改善する見込みとなっている。景況感は新型コロナウイルス感染症拡大前の水準に回復しつつある。

経営上の問題点を見ると、「修理、修繕費等の増加」、「従業員の不足」、「需要の停滞」の回答割合が特に高かった。なお、「従業員の不足」は、増加傾向にある。

以下、その他業況感DIの内訳

2021年1-3月期に対して、

- ・売上高DIは▲13で、4ポイント悪化
- ・処理量DIは▲13で、1ポイント悪化
- ・営業利益DIは▲14で、3ポイント悪化
- ・資金繰りDIは▲1で、前期と変わらず
- ・借入難易度DIは7で、1ポイント改善
- ・設備投資DIは▲6で、2ポイント悪化
- ・従業員数DIは▲3で、3ポイント改善
- ・契約単価DIは、収集運搬が▲1で、2ポイント悪化
処分が5で、1ポイント改善

- 売上高の動向については、前年同期比(3ヶ月平均)で9.2%増となった。
- 処理量の動向については、前年同期比(3ヶ月平均)で6.6%増となった。
- 経常利益率については、平均値が6.8%で前期調査(7.1%)より悪化した。

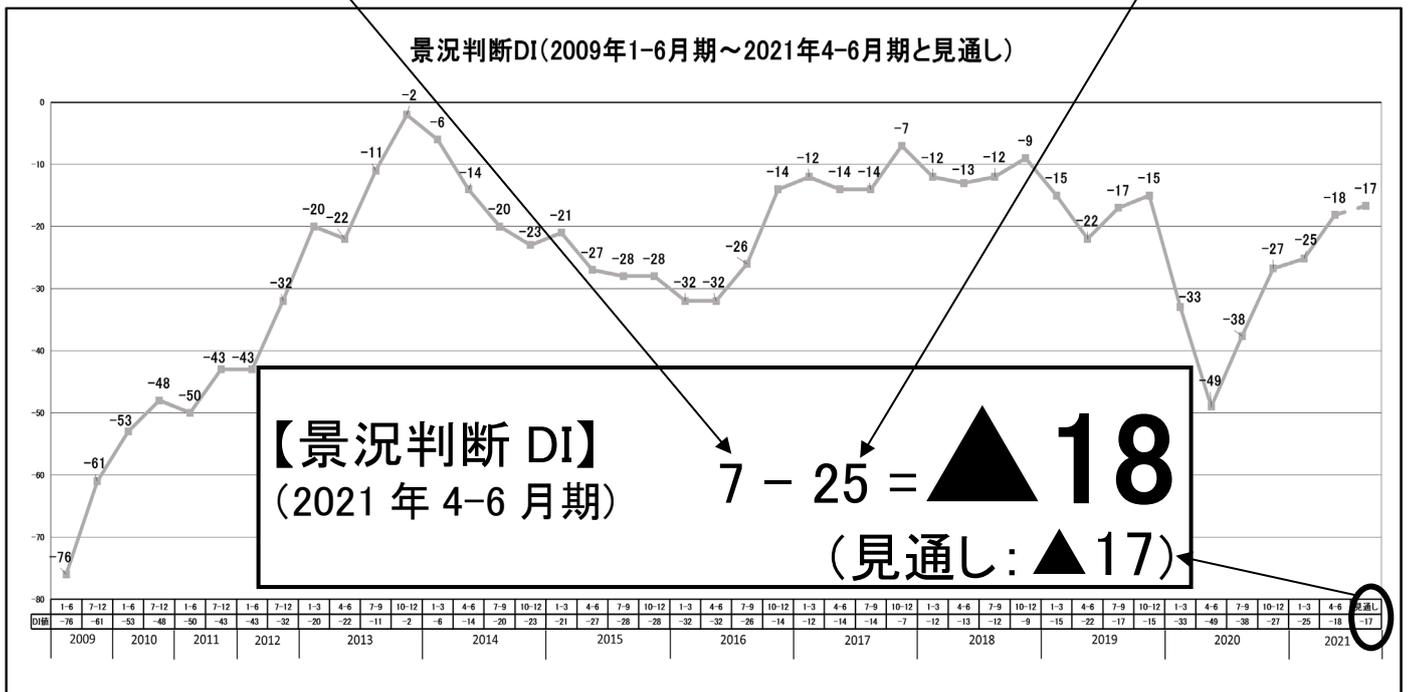
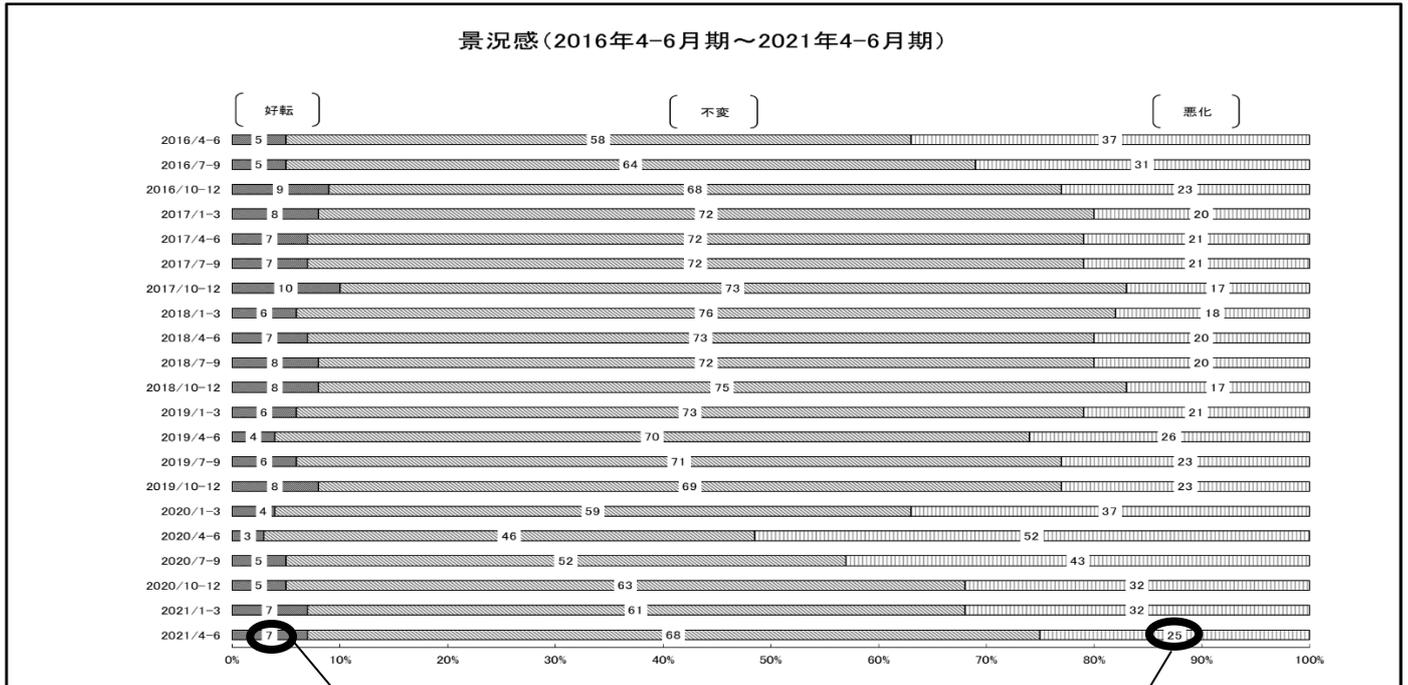
※DIとは、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、「好転」・「増加」したなどとする企業割合から、「悪化」・「減少」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

※本調査は、2009年から半期周期の調査として実施していたが、2013年からは四半期周期の調査に変更している。

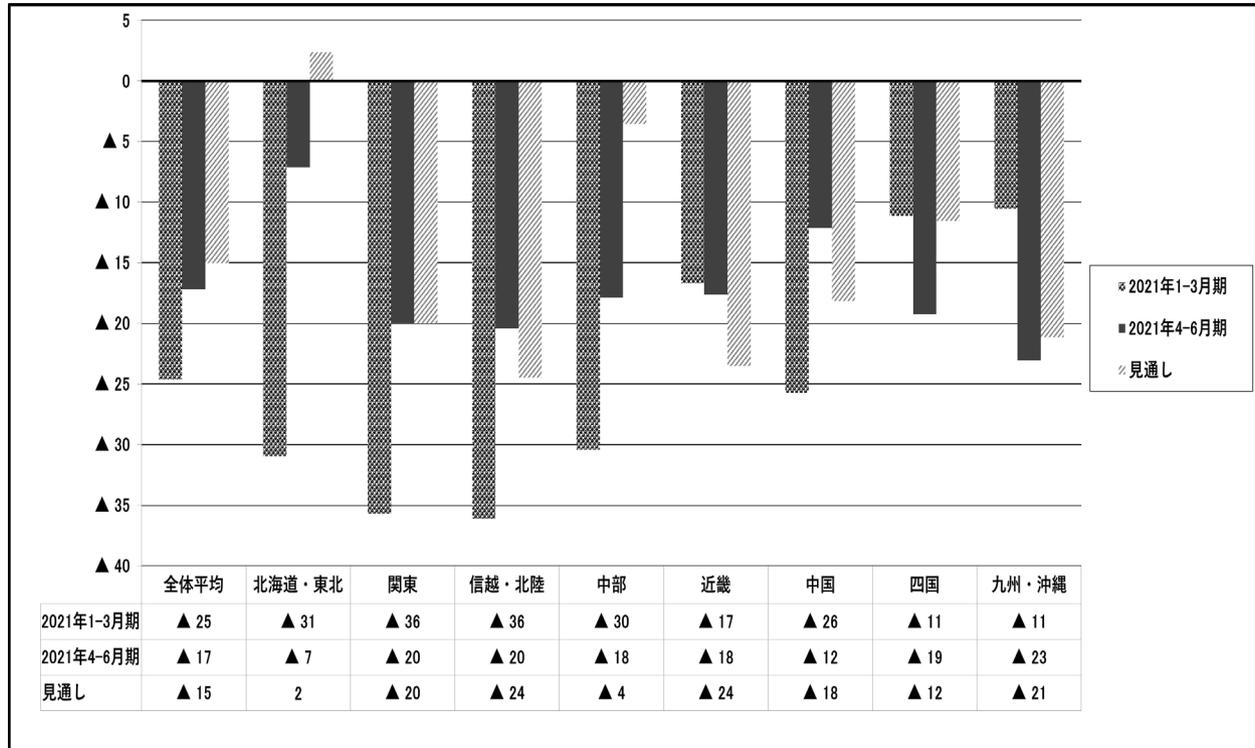
1. 景況感 DI(「好転」・「増加」―「悪化」・「減少」の企業割合)

(1) 景況判断 DI

- 景況判断 DI は▲18 となり、7 ポイント改善した。
見通しは▲17 となり、1 ポイント改善する見込みとなっている。
- 地域別の景況判断 DI をみると、「近畿」、「四国」、「九州・沖縄」が悪化した。(3 ページ参照)
- 地域別の景況判断 DI 見通しをみると、「信越・北陸」、「近畿」、「中国」が悪化する見込みとなっている。(3 ページ参照)



地域別景況判断 DI

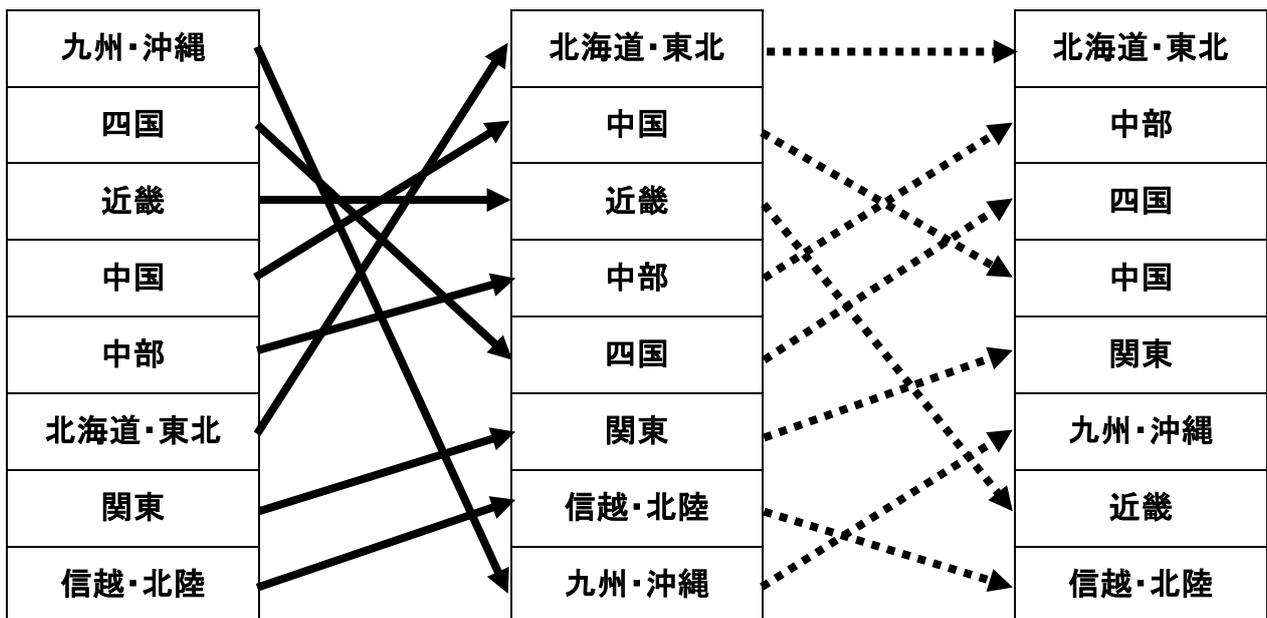


(ランキング推移)

2021年1-3月期
(前期)

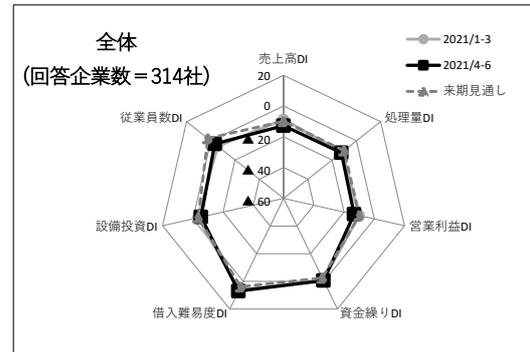
2021年4-6月期
(今期)

2021年7-9月期
(見通し)



(2) 売上高、処理量、営業利益、資金繰り、借入難易度、設備投資、従業員数 DI

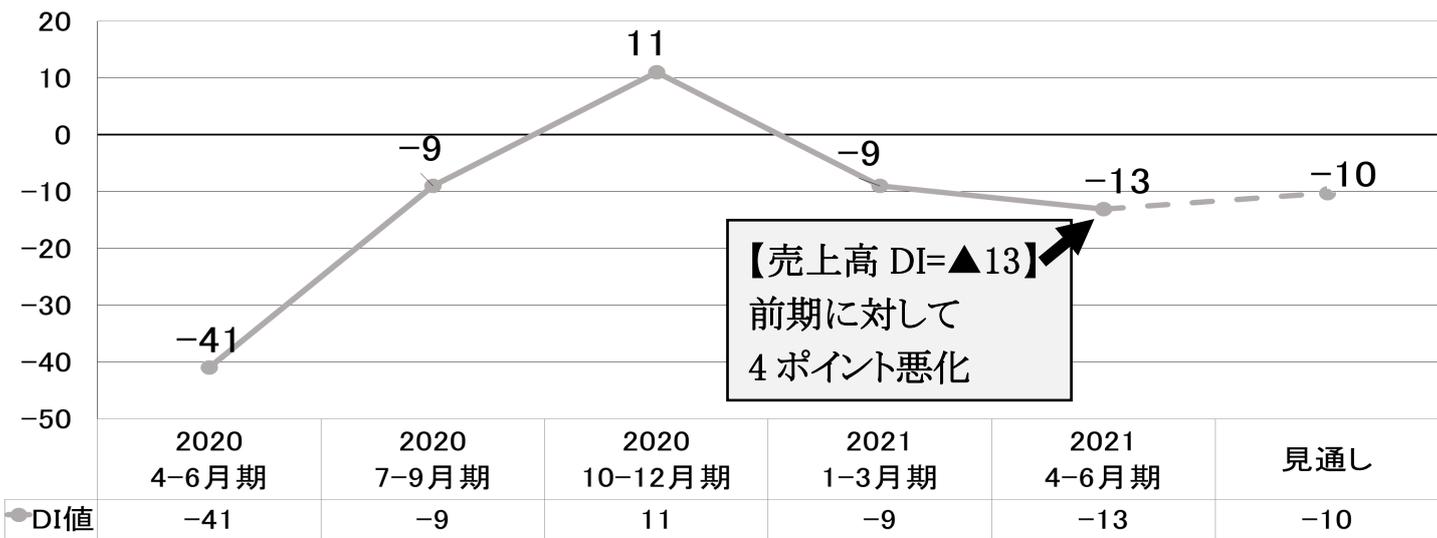
- 前期と比べて、借入難易度 DI、従業員数 DI のみ改善した。
- 見通しは売上高 DI、処理量 DI、営業利益 DI、設備投資 DI、従業員数 DI が改善する見込みとなっている。



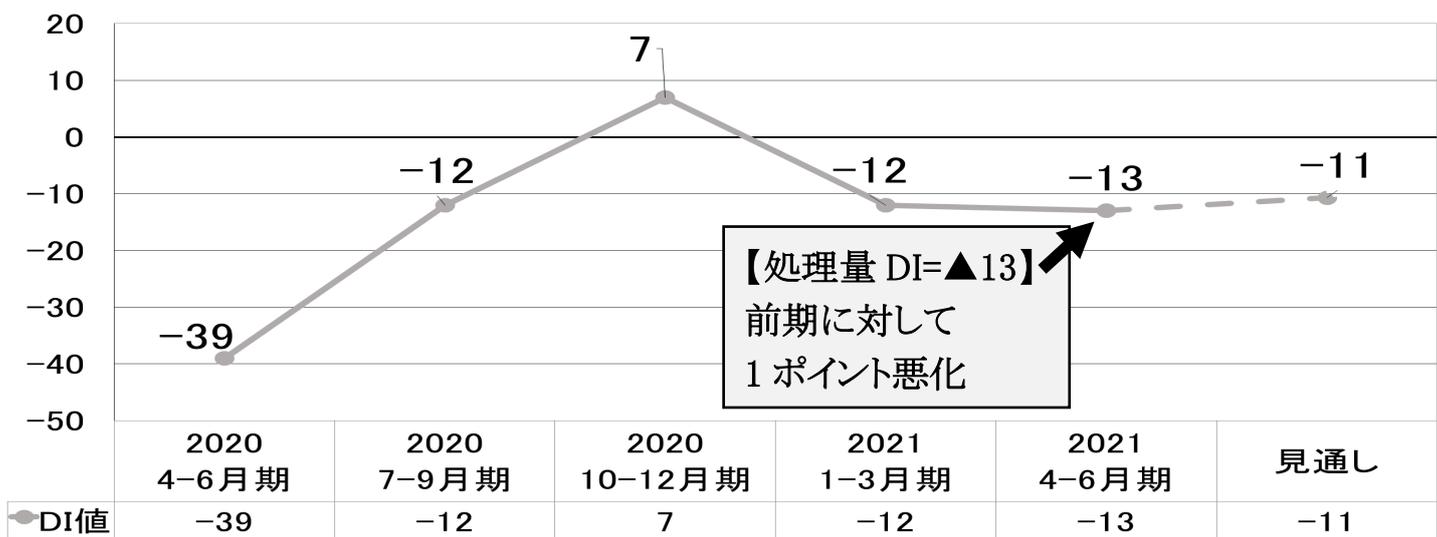
以下詳細(5~7ページ参照)

- ・売上高 DI は▲13 となり、前期と比べて 4 ポイント悪化した。
見通しは▲10 となり、3 ポイント改善する見込みとなっている。
- ・処理量 DI は▲13 となり、前期と比べて 1 ポイント悪化した。
見通しは▲11 となり、2 ポイント改善する見込みとなっている。
- ・営業利益 DI は▲14 となり、前期と比べて 3 ポイント悪化した。
見通しは▲10 となり、4 ポイント改善する見込みとなっている。
- ・資金繰り DI は▲1 となり、前期と変わらず。
見通しは▲3 となり、2 ポイント悪化する見込みとなっている。
- ・借入難易度 DI は 7 となり、前期と比べて 1 ポイント改善した。
見通しは 4 となり、3 ポイント悪化する見込みとなっている。
- ・設備投資 DI は▲6 となり、前期と比べて 2 ポイント悪化した。
見通しは▲4 となり、2 ポイント改善する見込みとなっている。
- ・従業員数 DI は▲3 となり、前期と比べて 3 ポイント改善した。
見通しは 3 となり、6 ポイント改善する見込みとなっている。

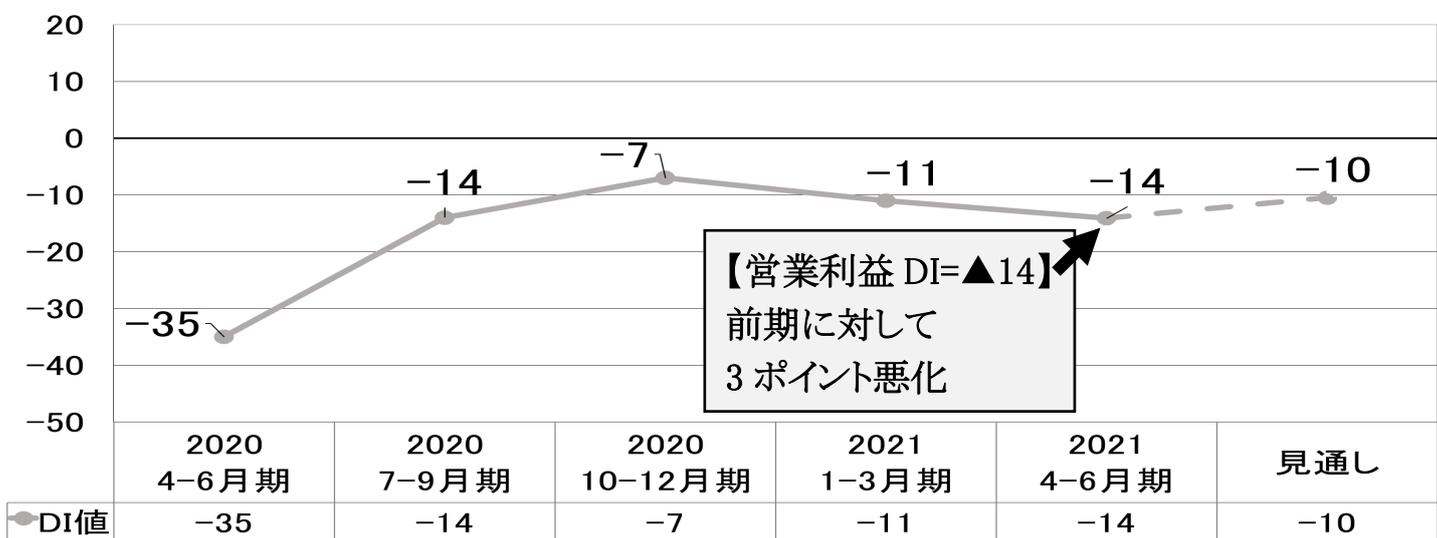
売上高DI (2020年4-6月期～2021年4-6月期と見通し)



処理量DI (2020年4-6月期～2021年4-6月期と見通し)

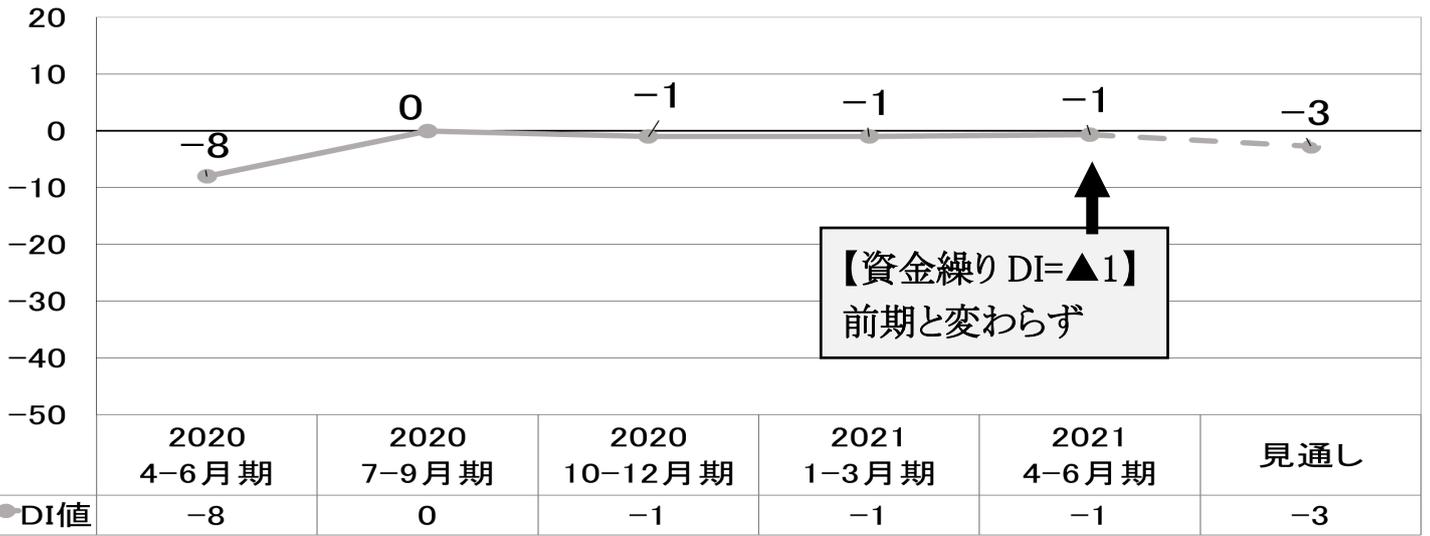


営業利益DI (2020年4-6月期～2021年4-6月期と見通し)



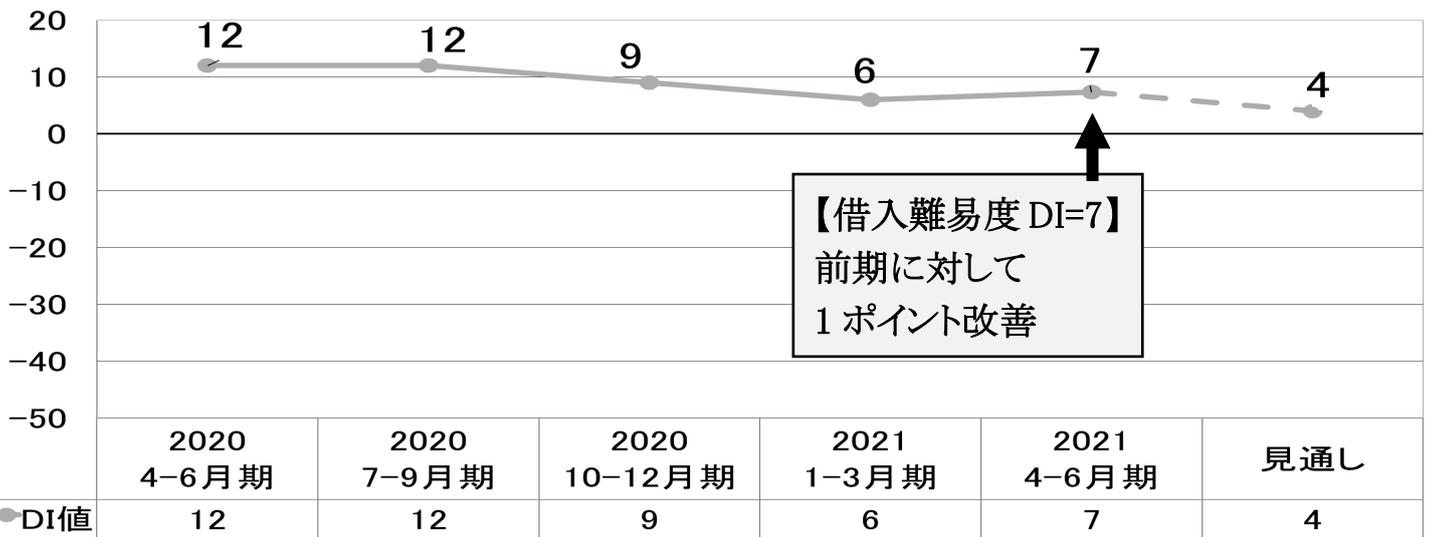
資金繰りDI

(2020年4-6月期～2021年4-6月期と見通し)



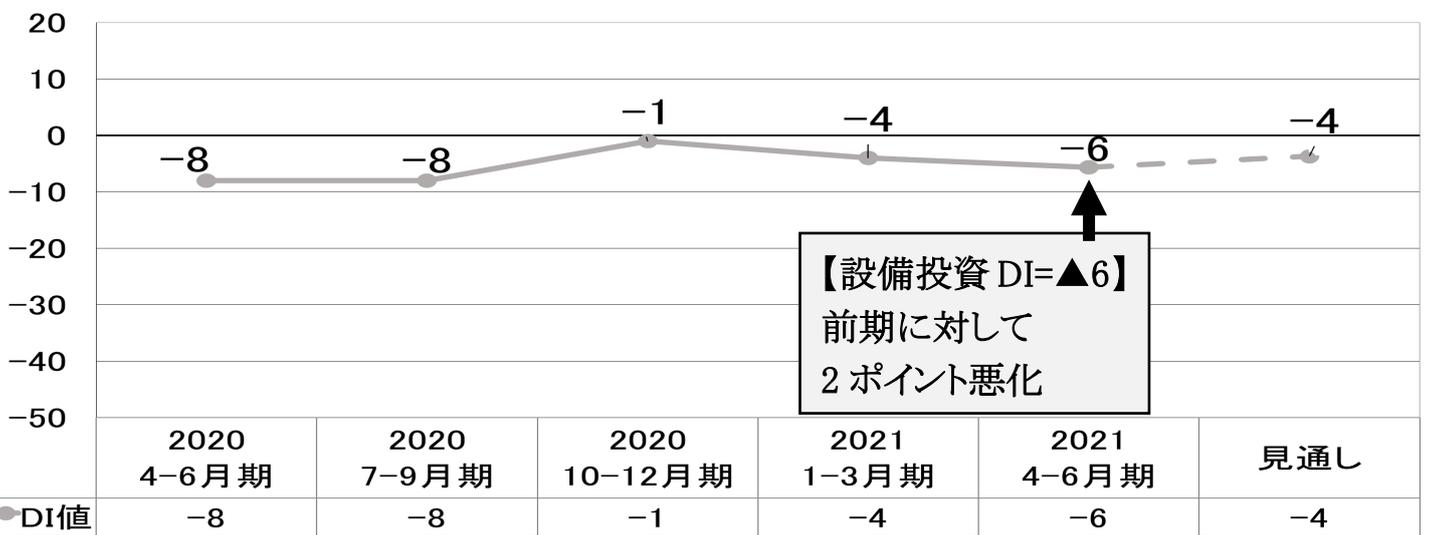
借入難易度DI

(2020年4-6月期～2021年4-6月期と見通し)

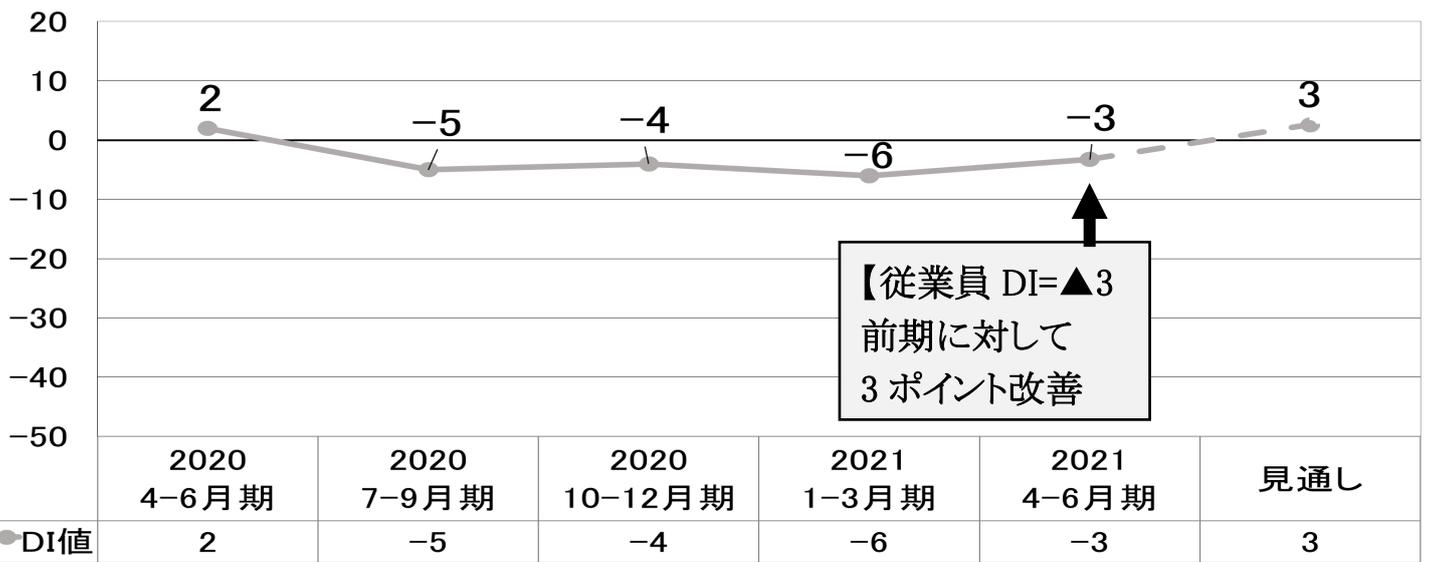


設備投資DI

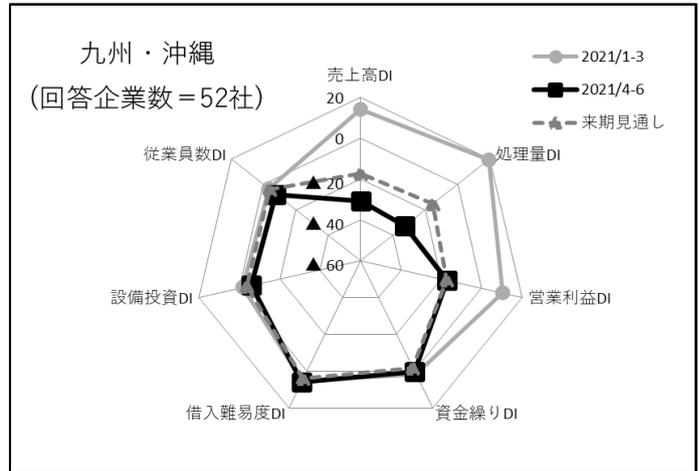
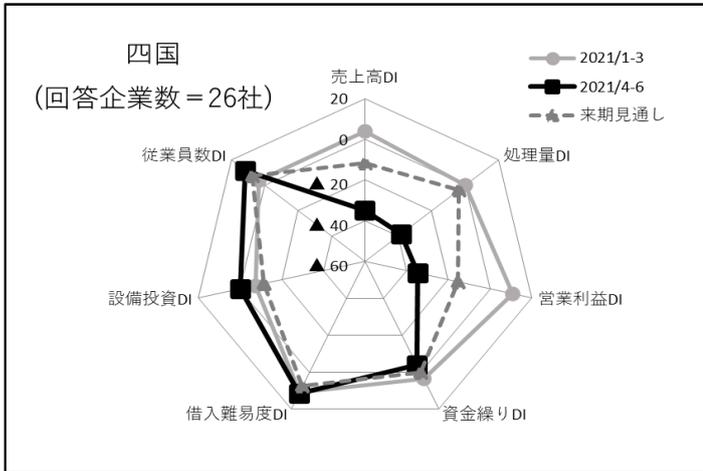
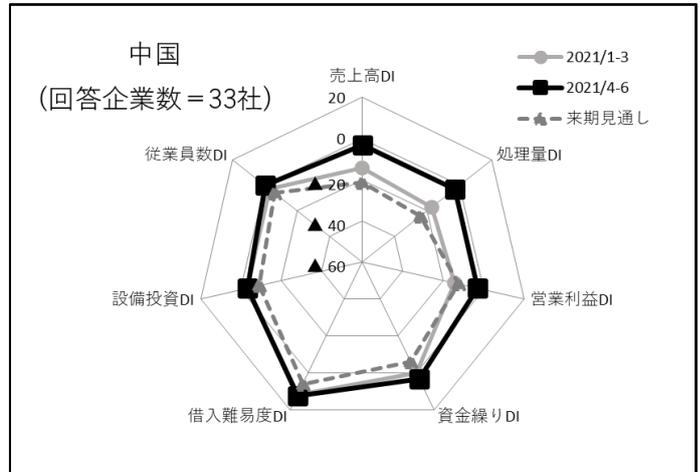
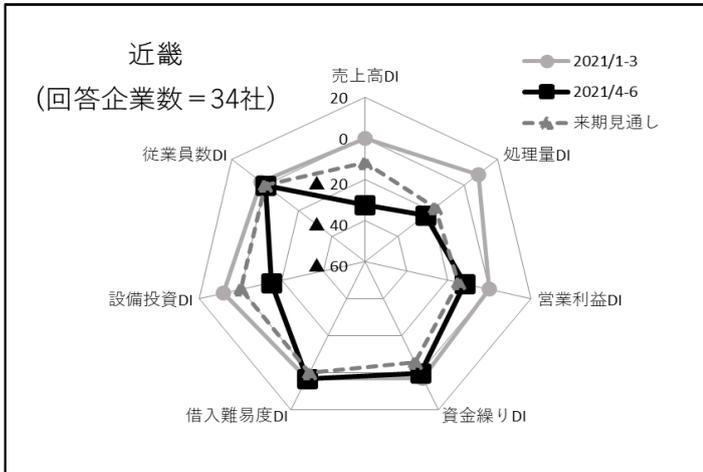
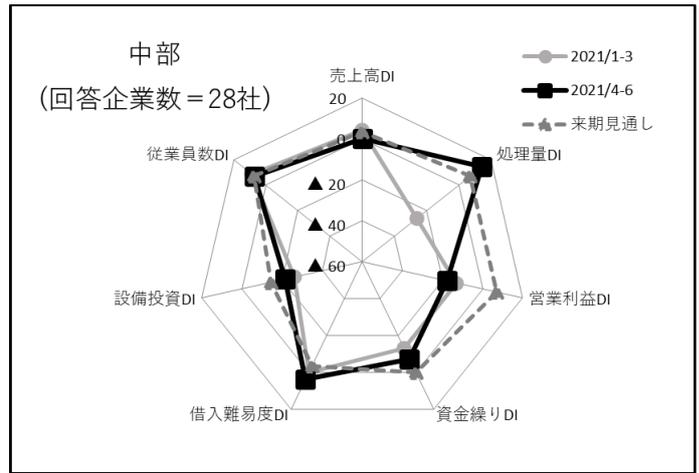
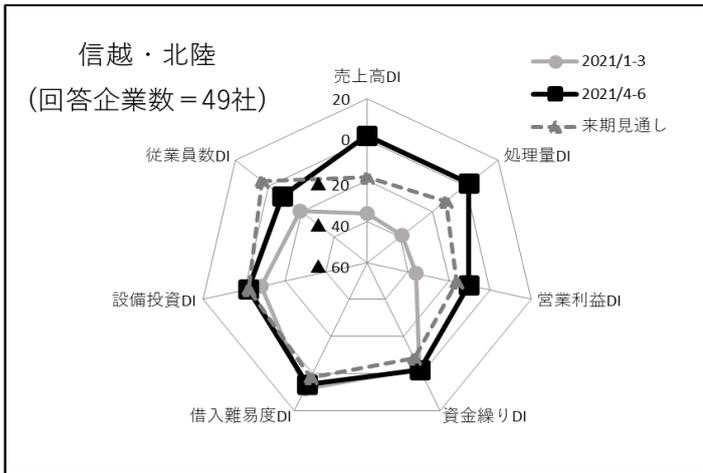
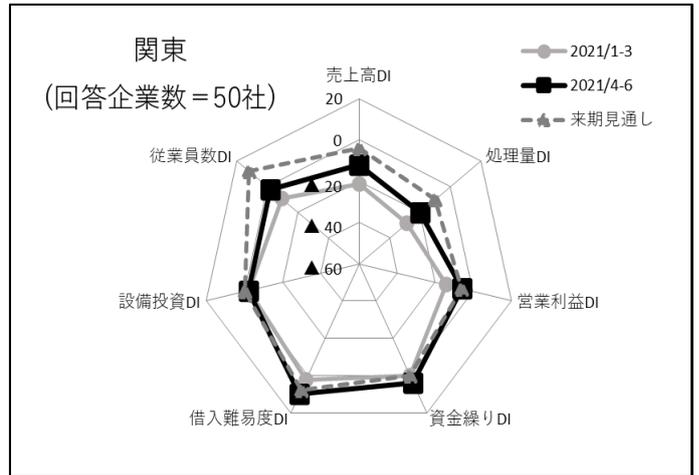
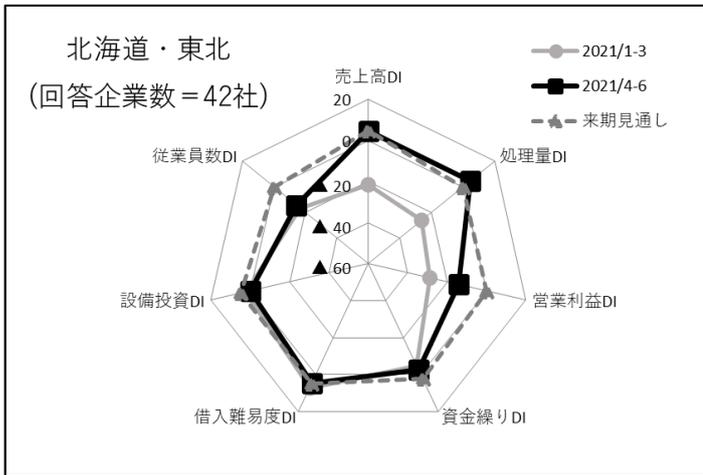
(2020年4-6月期～2021年4-6月期と見通し)



従業員数DI (2020年4-6月期～2021年4-6月期と見通し)

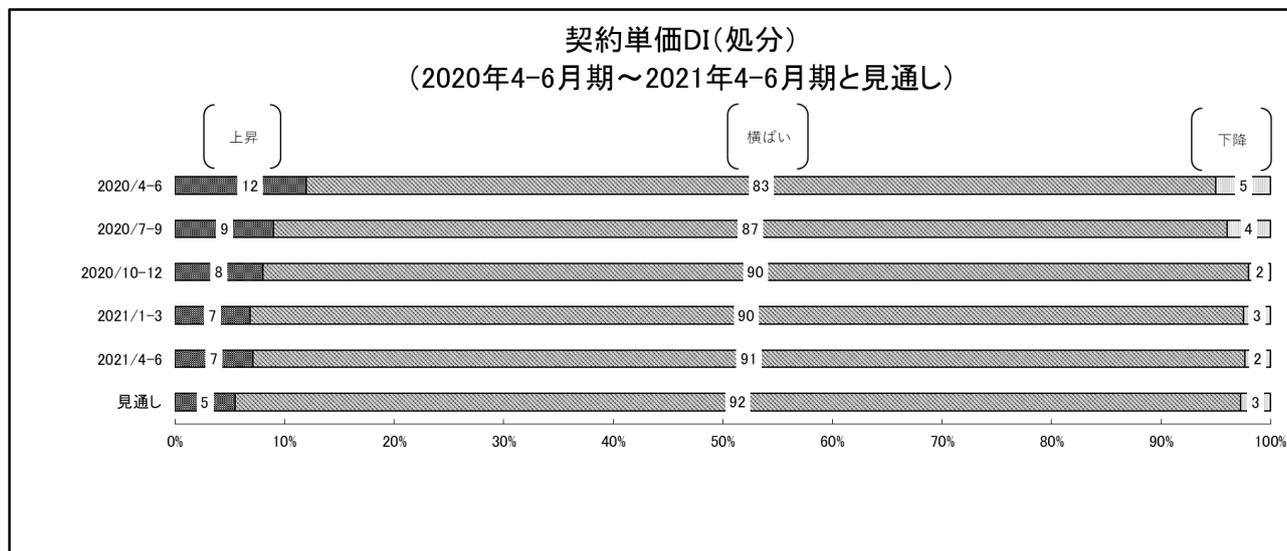
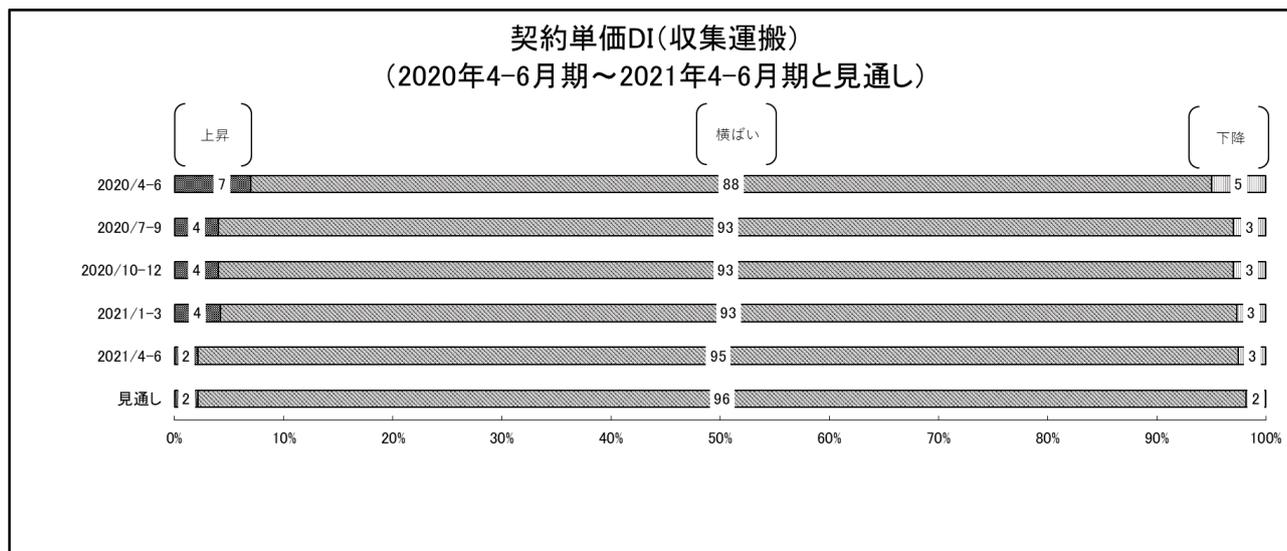


【売上高、処理量、営業利益、資金繰り、借入難易度、設備投資、従業員数 DI の地域別レーダーチャート】



(3) 契約単価 DI

- 収集運搬の契約単価 DI は▲1 となり、前期と変わらなかった。
見通しは 0 となり、1 ポイント改善する見込みとなっている。
- 処分の契約単価 DI は 5 となり、前期と比べて 1 ポイント改善した。
見通しは 2 となり、3 ポイント悪化する見込みとなっている。



2. 売上高の動向

○ 前年同期比(3ヶ月平均)では、9.2%増となった。

有効回答数:192社

単位:千円

前年売上高	2020年4月	2020年5月	2020年6月	平均
	8,019,080	6,761,963	8,123,334	7,634,792
今年売上高	2021年4月	2021年5月	2021年6月	平均
	8,288,191	7,782,152	8,952,631	8,340,991
前年比	3.4%	15.1%	10.2%	9.2%

3. 処理量の動向

○ 前年同期比(3ヶ月平均)では、6.6%増となった。

有効回答数:192社

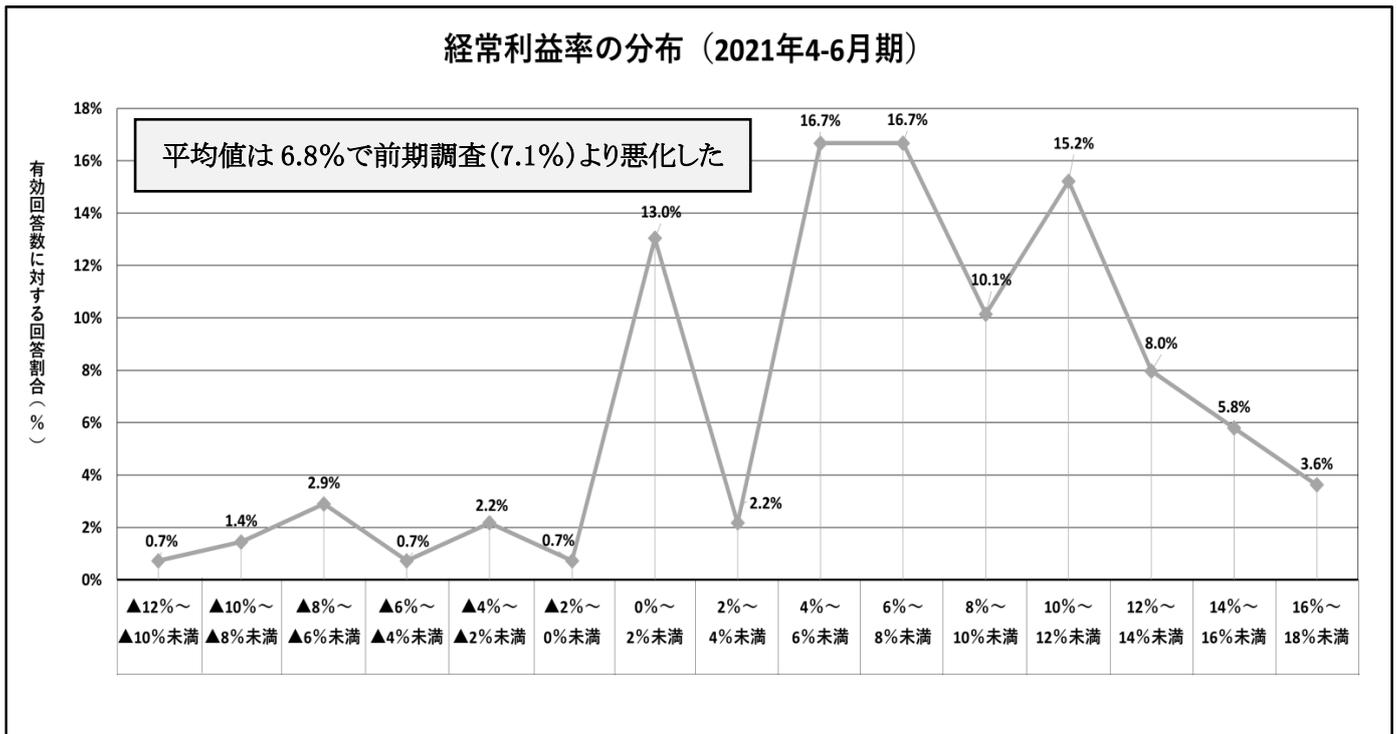
単位:トン

前年処理量	2020年4月	2020年5月	2020年6月	平均
	492,503	422,129	488,132	467,588
今年処理量	2021年4月	2021年5月	2021年6月	平均
	503,433	459,885	532,008	498,442
前年比	2.2%	8.9%	9.0%	6.6%

4. 経常利益率(経常利益の対売上高比率)

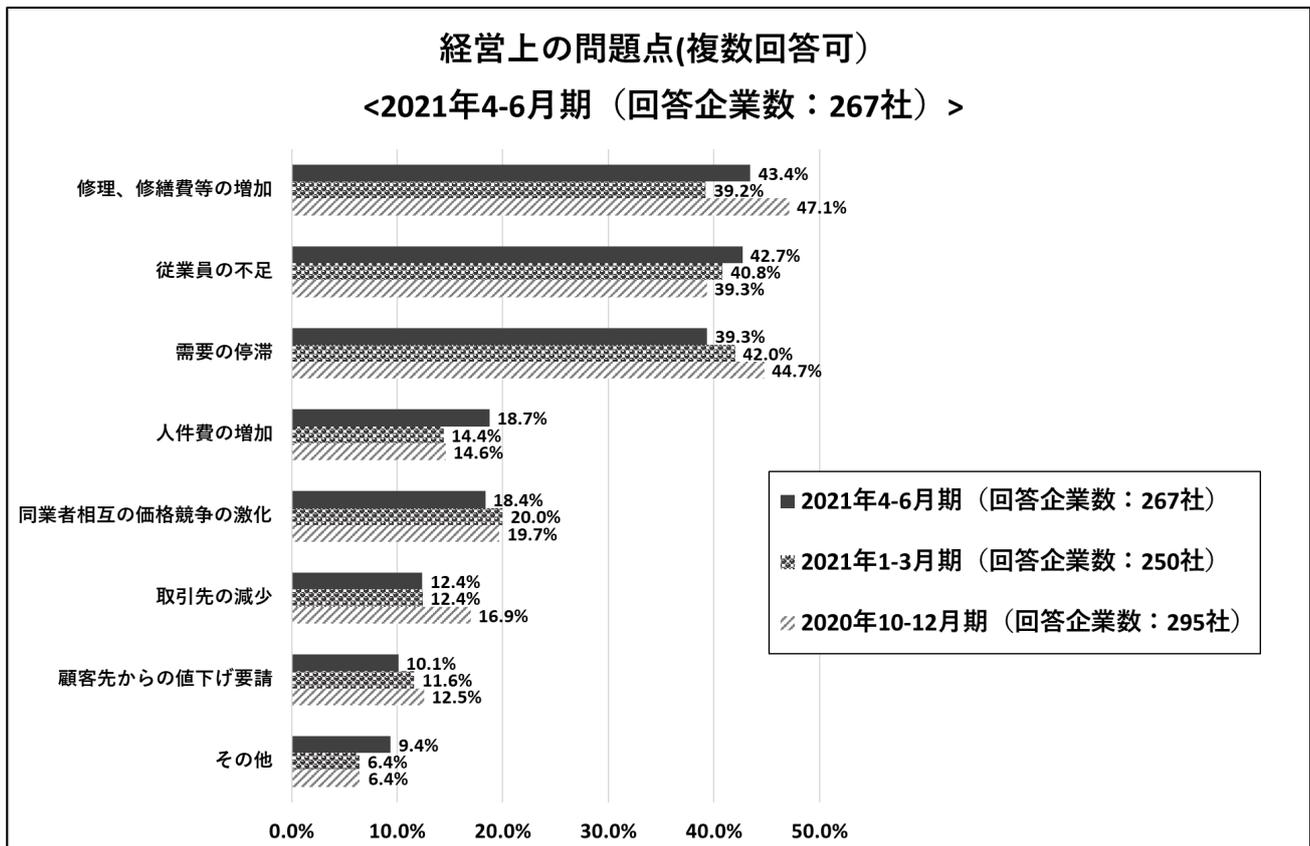
- 経常利益率の平均値は 6.8%で前期調査(7.1%)より悪化した。
- 最も回答が多かったのは、回答数 23 社(全体の 16.7%)の「4%～6%未満」および「6%～8%未満」となった。

有効回答数:138 社



5. 経営上の問題点(複数回答可)

- 経営上の問題点は、「修理、修繕費等の増加」、「従業員の不足」、「需要の停滞」の回答割合が特に高かった。
- 「従業員の不足」は、増加傾向にある。
- 「その他」の記述回答の内容は、「新型コロナウイルス感染症の影響」が4割を占めた。



【その他記述回答の代表的な意見】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響(その他記述回答の40.0%)
(公共事業の減少、従業員の感染リスクなど)
- ・燃料価格の高騰
- ・処分費用の値上げ

〔調査実施要領〕

本調査は、産業廃棄物処理業の景気動向について把握するため、2008年10-12月期の本調査において回答のあった全国の協会会員企業、全国産業資源循環連合会理事及び部会運営委員会委員を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、集計したものである。

(1) 調査対象者

「景況動向調査(2008年10-12月期)」で回答のあった全国の協会会員企業、全国産業資源循環連合会理事及び部会運営委員会委員

(2) 調査期間

2021年7月9日～7月30日

(3) 調査方法

郵送によるアンケート

(4) 回答数・回答率

調査依頼企業数 1,021社

回答企業数 314社

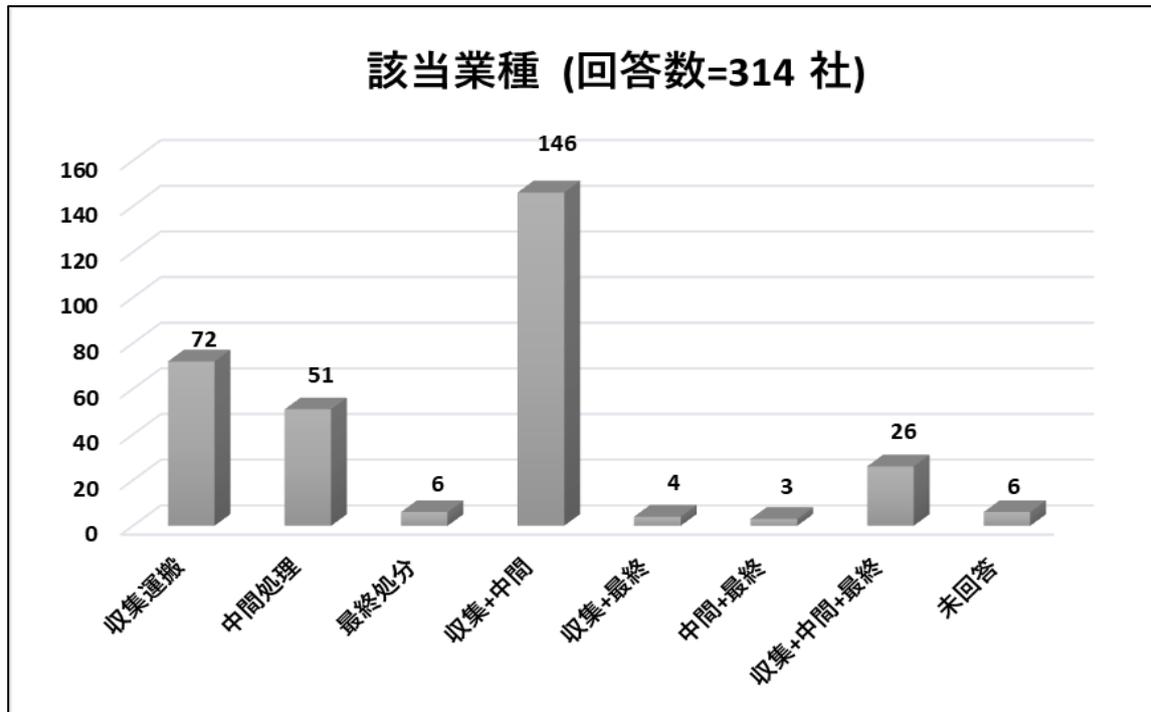
回答率 30.8%

(5) サンプル構成

① 地域別構成

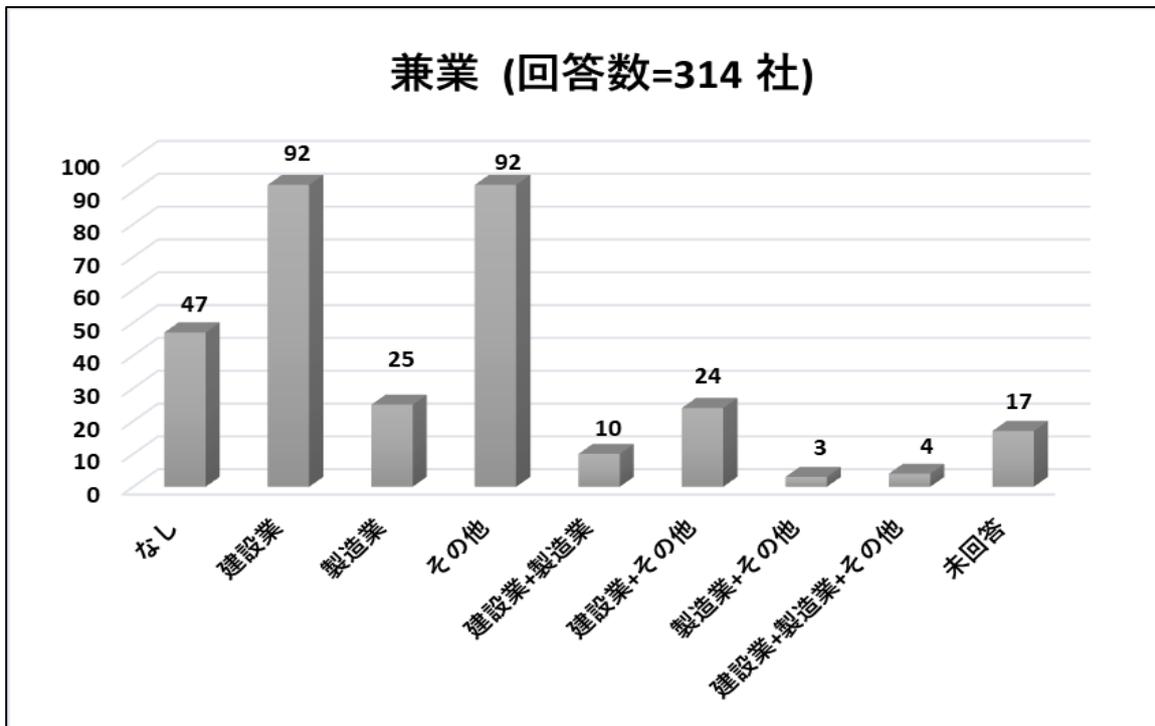
地域	企業数	構成比
北海道・東北	42	13.4%
関東	50	15.9%
信越・北陸	49	15.6%
中部	28	8.9%
近畿	34	10.8%
中国	33	10.5%
四国	26	8.3%
九州・沖縄	52	16.6%
合計	314	100.0%

② 業種別構成



該当業種	企業数	構成比
収集運搬	72	22.9%
中間処理	51	16.2%
最終処分	6	1.9%
収集+中間	146	46.5%
収集+最終	4	1.3%
中間+最終	3	1.0%
収集+中間+最終	26	8.3%
未回答	6	1.9%
合計	314	100.0%

③ 兼業別構成



兼業	企業数	構成比
なし	47	15.0%
建設業	92	29.3%
製造業	25	8.0%
その他	92	29.3%
建設業+製造業	10	3.2%
建設業+その他	24	7.6%
製造業+その他	3	1.0%
建設業+製造業+その他	4	1.3%
未回答	17	5.4%
合計	314	100.0%